



会津若松市第2期環境基本計画（改訂版）

の進捗状況報告

令和4年9月20日（火）
会津若松市 市民部環境生活課

本日の説明内容

1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは
2. 計画の令和3年度実績の報告
3. 環境審議会による答申附帯意見への対応状況

1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.1 環境基本計画とは

環境基本条例

持続的発展が可能な社会を構築し人と自然が共生できる市を目指すための条例



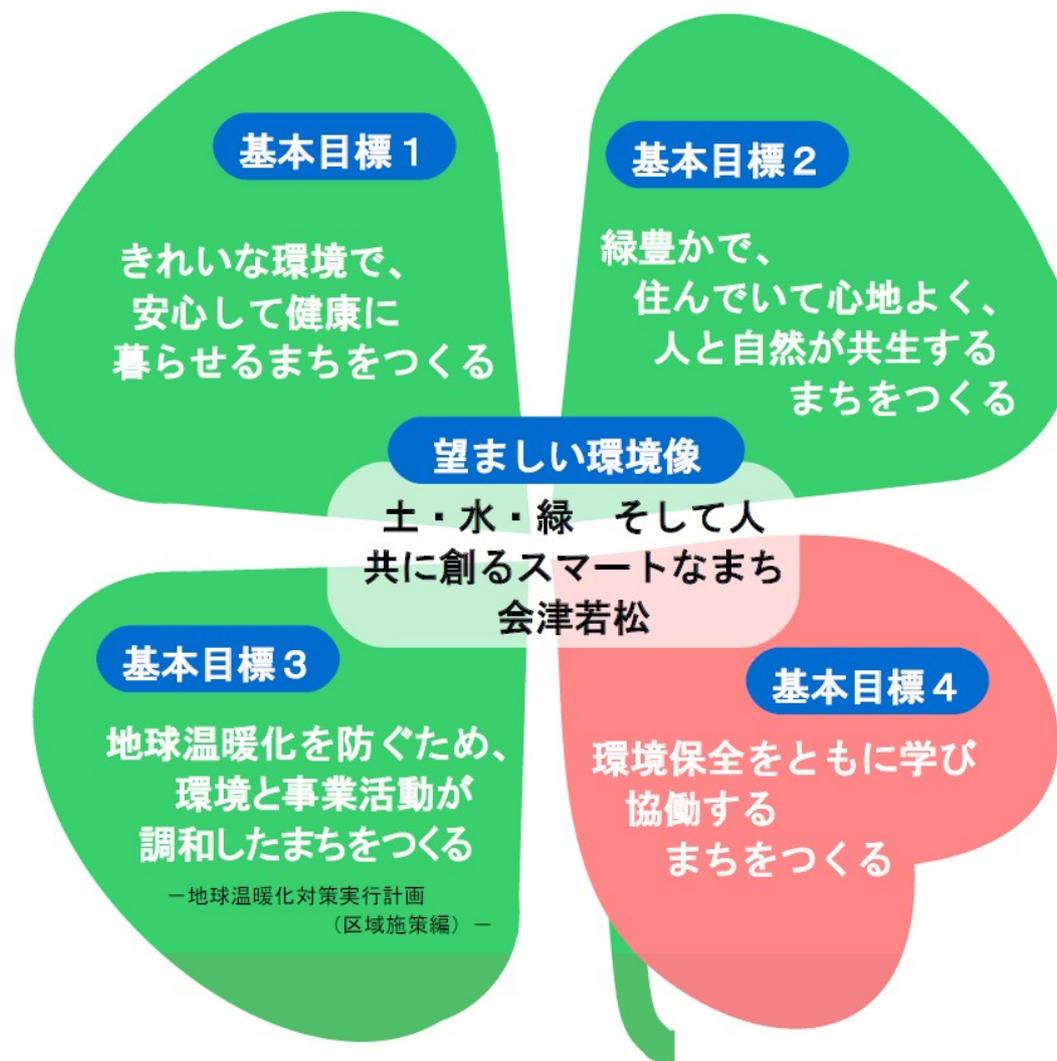
環境基本計画

会津若松市の環境行政の最上位計画
(第2期計画は平成26年度から令和5年度までの期間が対象)

環境をよくするために**目標**と**施策（取組）**を定めている⇒「道しるべ」

1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.2 計画の目標と構成①



1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.3 計画の目標と構成②

基本目標 1

- 1-1 空気や水がきれい安心して暮らせるまち
- 1-2 環境と生活スタイルが調和した快適なまち
- 1-3 放射能の不安のない安心なまち

基本目標 2

- 2-1 豊かな自然環境を守り、育てるまち
- 2-2 美しい里山と農地を守り、活かすまち
- 2-3 猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち
—猪苗代湖水環境保全計画—

基本目標 3

- 3-1 再生可能エネルギーの地産地消ができるまち
—新エネルギービジョン、バイオマス活用推進計画—
- 3-2 みんなでCO₂を減らすまち
- 3-3 再生可能エネルギーとICTを活用したまち
- 3-4 「もったいない」が息づくまち

基本目標 4

- 4-1 みんなで考え、みんなで学ぶまち
- 4-2 協働の輪を広げ、環境にやさしいまち

1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.4 計画の目標と構成③

個別目標 1-1

空気や水がきれいで安心して暮らせるまち

環境目標

	現状値 (平成24年 (2012年)度)	中間評価値 (平成29年 (2017年)度)	中期目標値 (平成30年 (2018年)度)	目標値 (平成35年 (2023年)度)
水路への油漏れ事故等の件数	9件	14件	5件	0件

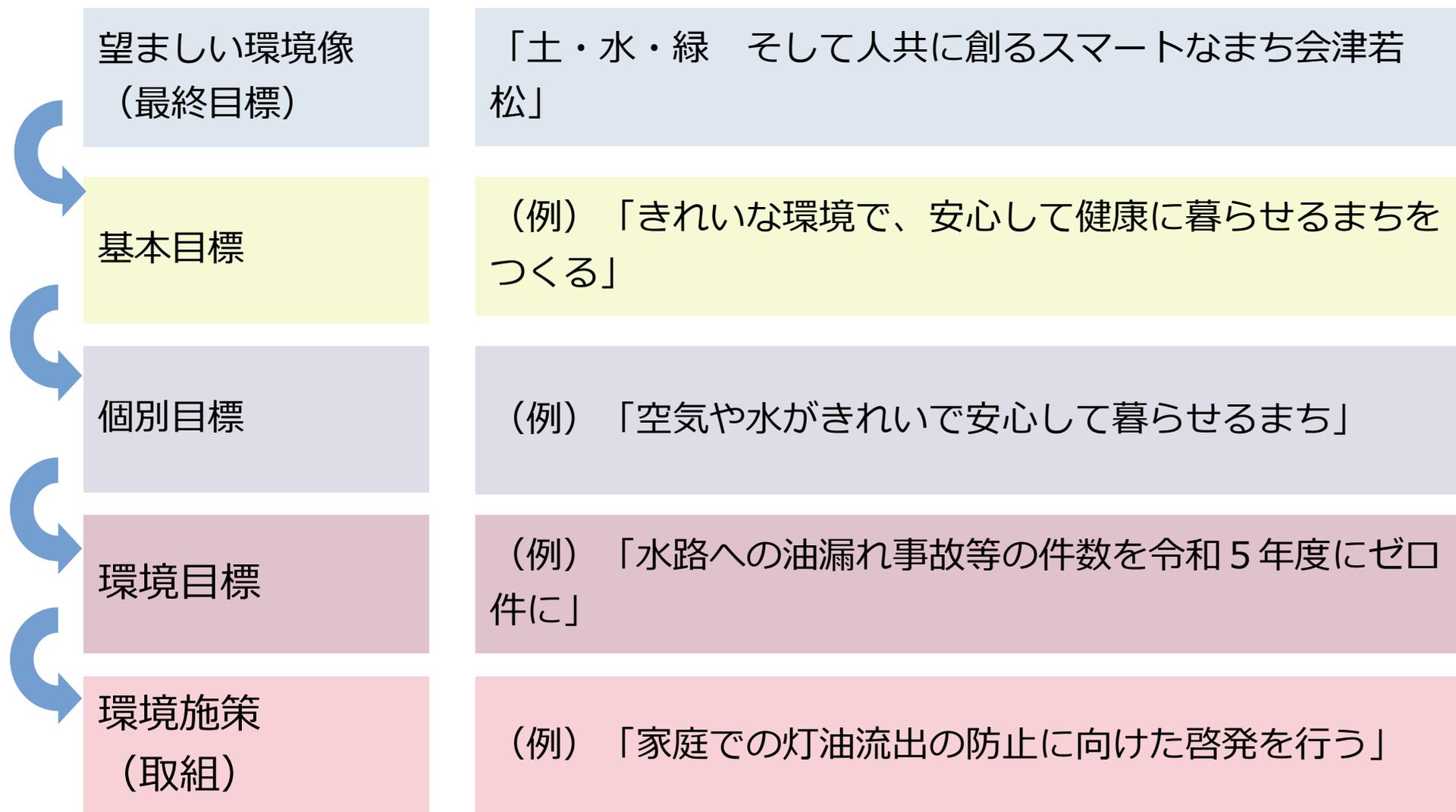
環境施策

◇有害物質の環境への排出を防ぎます

- ・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染の防止に向けた啓発
- ・家庭での灯油流出の防止に向けた啓発 【追加】
- ・環境保全協定、事業所パトロール等による公害の未然防止に向けた監視
- ・大気汚染状況（県測定）の継続的な確認と情報発信
- ・自動車等の排出ガスの抑制

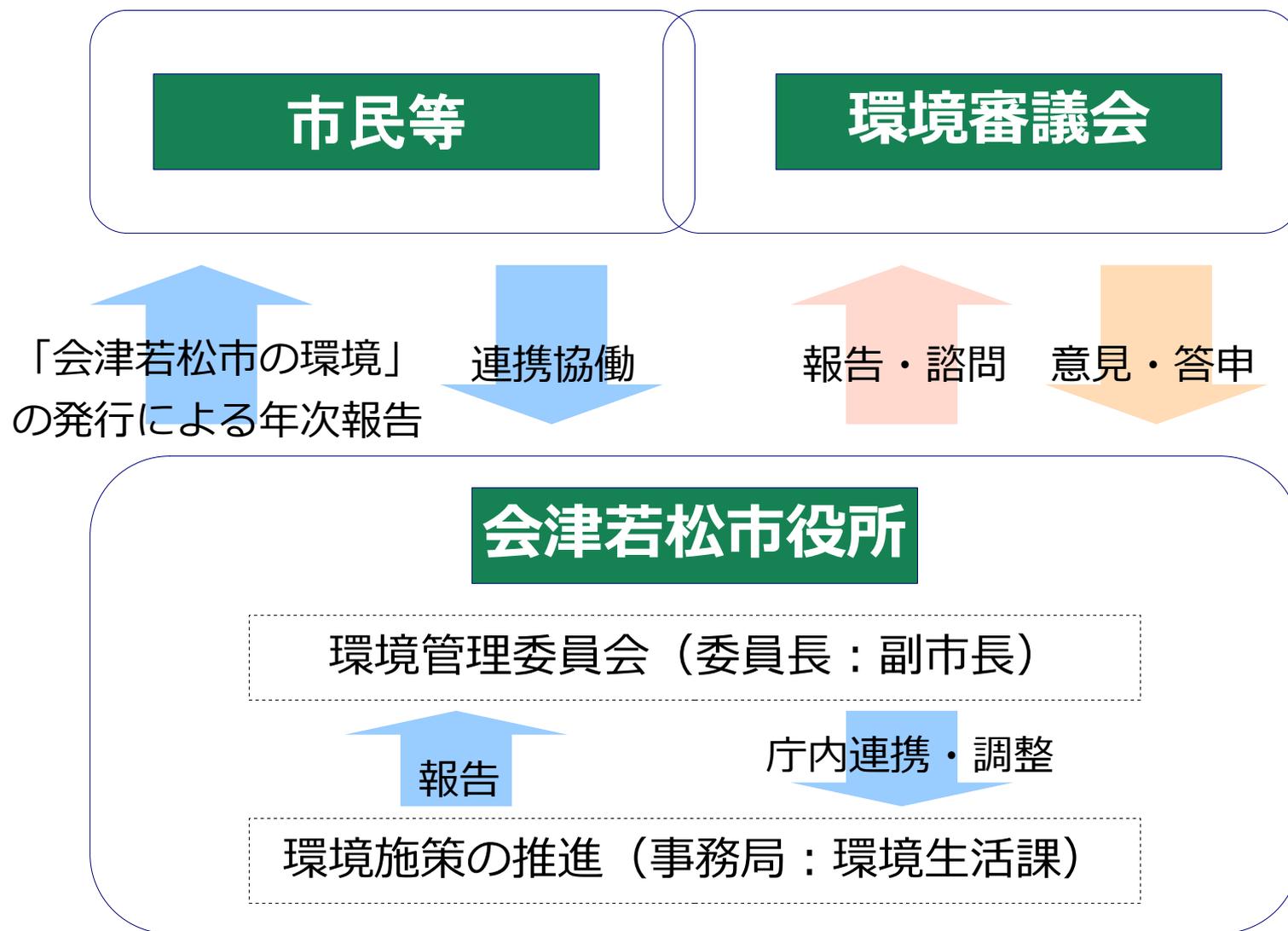
1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.5 計画の目標と構成④



1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.6 計画を進める体制



1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.7 （改定版）となった経緯

策定

平成26年3月策定

パリ協定

平成27年、21世紀後半に温室効果ガスの排出量と吸収量との均衡を果たす世界的合意が実現

改定

平成31年3月に目標・取組の見直し

1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.8 改訂の経過

平成30年4～5月

市民等に対する環境意識調査（アンケート）の実施
対象：7,240名・事業所 回答：2,404名・事業所

平成30年5月

第1回環境審議会（改訂方針の説明等）

平成31年2～3月

改訂素案に係るパブリックコメントの実施

平成31年3月

- ・第2回環境審議会（改訂案に係る諮問、改訂案の審議）
- ・第3回環境審議会（改訂案・答申案の審議）
- ・環境審議会による市長への答申

⇒ 成案決定、公表

1. 第2期環境基本計画（改訂版）とは

1.9 環境審議会での審議等の様子

市長による諮問（第2回）



改訂案・答申案の審議（第3回）



市長への答申



2. 計画の令和3年度実績の報告

2.1 基本目標1の基本目標と個別目標

基本目標1

きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

基本目標 1

- 1-1 空気や水がきれいで安心して暮らせるまち
- 1-2 環境と生活スタイルが調和した快適なまち
- 1-3 放射能の不安のない安心なまち

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.2 基本目標1の環境目標の実績

基本目標1

きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

	個別目標	環境目標	目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況
			現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)		
基本目標1	1-1	水路への油漏れ事故等の件数	9件	13件	14件	0件	↘	
		地下水の有機塩素化合物未検出率	56%	56%	67%	100%	↗	
	1-2	河川の水質の環境基準達成率	71%	100%	100%	100%	→	達成
		汚水処理人口普及率	79.7%	87.4%	88.2%	87.9%	↗	達成
		自動車騒音に係る環境基準の達成率	100%	83%	83%	100%	→	
	1-3	毎時0.23 μ Sv(追加的被ばく線量の推計が年間1mSv)を超える地区の数	7地区	0地区	0地区	0地区	→	達成
		放射線の影響を不安に感じる市民の割合	44.8%	(H30) 31.0%	(H30) 31.0%	0%	=	

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.3 基本目標1の環境施策

基本目標1

きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

【環境施策の例】



家庭での灯油流出の防止に向けた啓発（市民向けステッカー）



事業所への立入調査・指導の強化（事業所での悪臭調査）



簡易放射線測定器等の貸出（貸出用簡易放射線測定器）

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.4 基本目標1の評価

基本目標1

きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

市民生活に影響を与え、生活環境を悪化させるような大きな公害や事故等は、市内では近年発生しておらず、また、放射線についても、平成25年度以降、追加的被ばく線量が年1ミリシーベルトを超える地区は確認されておられません。

こうしたことから、環境目標は順調に推移しており、一部は目標を達成しています。

一方、水路への油漏れ等の事故件数は増加傾向にあり、より一層の注意喚起が求められます。

引き続き、市民の皆様が安心して健康に暮らせるまちをつくるため、環境負荷の低減とともに、監視や調査等を継続していく必要があります。

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.5 基本目標2の基本目標と個別目標

基本目標2

緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

基本目標 2

2-1 豊かな自然環境を守り、育てるまち

2-2 美しい里山と農地を守り、活かすまち

2-3 猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち

—猪苗代湖水環境保全計画—

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.6 基本目標2の環境目標の実績①

基本目標2

緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

	個別目標	環境目標	目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況
			現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)		
基本目標2	2-1	森林施業面積	1,347ha	1,999ha	2,061ha	2,267ha	↗	
		自然環境や動植物の保護を行う市民の割合	21%	(H30) 10.5%	(H30) 10.5%	60%	=	
	2-2	環境保全型農業直接支援対策事業の対象面積	(H27) 5,987a	7,580a	9350a	(R8) 7,000a	↗	達成
		担い手に集積された農用地の面積割合	59.1%	76.8%	78.2%	(R8) 78%	↗	達成
	2-3	農業集落排水施設水洗化率	赤井:97.0% 共和:90.4%	赤井:98.9% 共和:94.0%	赤井: 98.8% 共和: 94.7%	赤井:100% 共和:94.8%	↗	
		高度処理型浄化槽の普及率	25.9%	32.9%	35.6%	45%	↗	
		猪苗代湖・流域清掃活動参加者数	514名	0名	0名	600名	→	
			38名	0名	0名	-	→	
			476名	0名	0名	-	→	

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.7 基本目標2の環境目標の実績②

基本目標2

緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

	個別目標	環境目標			目標値と実績値					
					現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)	前年度との比較	目標値達成状況
基本目標2	2-3	猪苗代湖及び流入河川の水質	中田浜	COD	0.7mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.2mg/ℓ	0.7mg/ℓ以下	↘	
				全窒素	0.18mg/ℓ	0.20mg/ℓ	0.23mg/ℓ	0.2mg/ℓ以下	↘	
				全リン	0.011mg/ℓ	0.004mg/ℓ	0.004mg/ℓ	0.01mg/ℓ以下	→	達成
			赤井川	BOD	1.4mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.0mg/ℓ	1.2mg/ℓ以下	↗	達成
				全窒素	1.24mg/ℓ	0.85mg/ℓ	0.88mg/ℓ	1.1mg/ℓ以下	↘	達成
				全リン	0.093mg/ℓ	0.095mg/ℓ	0.045mg/ℓ	0.08mg/ℓ以下	↗	達成
			原川	BOD	0.8mg/ℓ	0.5mg/ℓ	0.6mg/ℓ	0.8mg/ℓ以下	↘	達成
				全窒素	0.53mg/ℓ	0.40mg/ℓ	0.50mg/ℓ	0.5mg/ℓ以下	↘	達成
				全リン	0.031mg/ℓ	0.018mg/ℓ	0.020mg/ℓ	0.03mg/ℓ以下	↘	達成

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.8 基本目標2の環境施策

基本目標2

緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

【環境施策の例】



猪苗代湖環境保全推進連絡会によるビーチクリーナーによる猪苗代湖岸清掃

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.9 基本目標2の評価

基本目標2

緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

自然環境関連の環境目標については、全体的に改善傾向にあり、とくに、猪苗代湖の流入河川の水質は多くが目標を達成しています。令和3年度もおおむね良好な環境が維持されていますが、他方、湖水の中性化が進むなど引き続き注意が必要な点もあります。

また、清掃活動等のイベントについては、コロナウイルス感染症の影響により、開催ができない状況が続いています。

人と自然が共生するまちをつくるため、引き続き、市民や事業者の皆様、県及び関係自治体との連携・協働のもとに、森林や里山の保全、生物多様性の確保、猪苗代湖の水環境の保全に取り組んでいく必要があります。

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.10 基本目標3の基本目標と個別目標

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

基本目標 3

3-1 再生可能エネルギーの地産地消ができるまち

—新エネルギービジョン、バイオマス活用推進計画—

3-2 みんなでCO₂を減らすまち

3-3 再生可能エネルギーとICTを活用したまち

3-4 「もったいない」が息づくまち

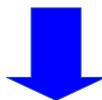
2. 計画の令和3年度実績の報告

2.11 基本目標3と地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

「地球温暖化対策の推進に関する法律」により、地方自治体は、温室効果ガスの排出抑制等を推進するための計画（区域施策編）を定める必要あり（本市は努力義務）。

【計画で定める事項（具体的な施策）】

- 再生可能エネルギーの利用促進 ⇒ 個別目標3-1
- 温室効果ガスの排出抑制に関する活動の促進 ⇒ 個別目標3-2
- 温室効果ガスの排出抑制に資する地域環境の整備・改善 ⇒ 個別目標3-3
- 廃棄物の発生の抑制 ⇒ 個別目標3-4



上記の施策の実施によって令和5年度（2023年度）までに平成22年度（2010年度）比で13.2%の温室効果ガスを削減

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.12 基本目標3の環境目標の実績①

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

	個別目標	環境目標	目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況	
			現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)			
基本目標3	3-1	再生可能エネルギーの供給目標値 ※現状値、目標値を再算定	太陽光発電	(H22) 20.3TJ	(H29) 119.9TJ	(H30) 338.9TJ	344.3TJ	↗	
			太陽熱利用	(H22) 0.3TJ	(H29) 0.5TJ	(H30) 0.5TJ	0.5TJ	→	達成
			風力発電	(H22) 0.0TJ	(H29) 381.5TJ	(H30) 381.5TJ	750.1TJ	→	
			水力発電	(H22) 6,206.7TJ	(H29) 6,199.0 TJ	(H30) 6,233.5TJ	6,245.3TJ	↗	
			うち小水力発電 (1,000kW未満)	(H22) 61.2TJ	(H29) 52.7TJ	(H30) 89.9TJ	99.8TJ	↗	
			地熱発電	(H22) 0.0TJ	(H29) 0.0TJ	(H30) 0.0TJ	0.0TJ	→	
			うち地熱バイナリー 発電	(H22) 0.0TJ	(H29) 0.0TJ	(H30) 0.0TJ	0.0TJ	→	

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.13 基本目標3の環境目標の実績②

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

	個別目標	環境目標	目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況	
			現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)			
基本目標3	3-1	再生可能エネルギーの供給目標値 ※現状値、目標値を再算定	バイオマス発電	(H22) 0.0TJ	(H29) 390.4TJ	(H30) 390.4TJ	392.3TJ	→	
			バイオマス熱利用	(H22) 12.8TJ	(H29) 14.8TJ	(H30) 11.6TJ	417.1TJ	↘	
			バイオマス燃料製造	(H22) 2.1TJ	(H29) 2.0TJ	(H30) 2.0TJ	3.1TJ	→	
			温度差熱利用	(H22) 6.8TJ	(H29) 12.4TJ	(H30) 12.4TJ	7.2TJ	→	達成
			雪氷熱利用	(H22) 0.0TJ	(H29) 0.0TJ	(H30) 0.0TJ	0.0TJ	→	
			計	(H22) 6,249.0TJ	(H29) 7,120.5TJ	(H30) 7,464.1TJ	8,160.0TJ	↗	
			一次エネルギー需要	(H22) 15,976.5TJ	(H29) 12,770.8TJ	(H30) 11,771.8TJ	14,245.8TJ	↗	達成
			一次エネルギー需要に占める再生可能エネルギー供給量の割合	(H22) 39.1%	(H29) 55.8%	(H30) 62.6%	57%	↗	達成

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.14 基本目標3の環境目標の実績③

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

	個別目標	環境目標		目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況	
				現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)			
基本目標3	3-1	バイオマスの活用目標	廃棄物系バイオマス	生ごみ利用率	27%	21%	24%	50%	↗	
				下水汚泥利用率	23%	68%	63%	60%	↘	達成
			廃食用油利用率	26%	39%	37%	60%	↘		
		未利用系バイオマス	間伐材利用率	0%	85%	49%	20%	↘	達成	

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.15 基本目標3の環境目標の実績④

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

	個別目標	環境目標	目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況
			現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)		
基本目標3	3-2	省エネ診断等の受診施設数(平成21年度からの累計)	(H22) 4件	45件	45件	70件	→	
		各家庭における節電・節水等の省エネ取り組み率	76%	(H30) 72.8%	(H30) 72.8%	100%	=	
		エコドライブ宣言者数	(H22) 164名	414名	414名	450名	→	
		「福島議定書事業」参加団体数(市内)	(H29) 事業所:92 学校:21	事業所:97 学校:10	事業所:105 学校:18	事業所:230 学校:50	↗	
		「エコチャレンジ事業」参加世帯数(市内)	(H29) 117世帯	81世帯	141世帯	500世帯	↗	
	3-3	電気自動車・プラグインハイブリッド車台数	(H22) 5台	376台	390台	8,000台	↗	
		充電器設置数(一般家庭除く)	(H22) 6台	33基	36基	40基	↗	
	3-4	1日1人あたりのごみ排出量<新統計>	(H22) 1,222g	1,243g	1,231g	1,031g	↗	
		総リサイクル量	(H22) 13,038t	11,814t	11,708t	13,000t以上	↘	

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.16 本市の温室効果ガスの排出量の状況

市域の温室効果ガス排出量(推計値)の推移



2. 計画の令和3年度実績の報告

2.17 基本目標3の環境施策

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

【環境施策の例】



住宅用太陽光発電システム等設置補助金の交付



電気自動車・プラグインハイブリッド車、充電設備の普及の推進（画像は北会津支所設置の急速充電器）

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.18 基本目標3の評価

基本目標3

地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

再生可能エネルギー関連の環境目標、とくに、一次エネルギー需要に占める供給量の割合については、平成30年度の実績が62.6%（推計に使用する各種統計の都合上、平成30年度が最新データ）と、目標を達成しました。また、省エネや電気自動車、ごみ排出量関連の環境目標は目標達成には至っておりませんが、改善傾向にあります。

令和3年度には「ゼロカーボンシティ会津若松宣言」を行ったこともあり、今後はより一層、温室効果ガス排出量の削減による地球温暖化防止、再生可能エネルギーの普及拡大を進めるとともに、市民や事業者の皆様との連携・協働により、省エネの推進、電気自動車の普及拡大、ごみ排出量の減量など、環境負荷の低減に向けた取組を強化する必要があります。

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.19 基本目標4の基本目標と個別目標

基本目標4

環境保全をともに学び、協働するまちをつくる

基本目標 4

4-1 みんなで考え、みんなで学ぶまち

4-2 協働の輪を広げ、環境にやさしいまち

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.20 基本目標4の環境目標の実績

基本目標4

環境保全をともに学び、協働するまちをつくる

	個別目標	環境目標	目標値と実績値				前年度との比較	目標値達成状況
			現状値(H24)	R2実績値	R3実績値	目標値(R5)		
基本目標4	4-1	環境教室(子ども向け・市民向け)参加者数	117名	47名	69名	450名	↗	
		環境関連の出前講座の実施回数	37回	11回	23回	50回	↗	
	4-2	環境関連イベントの参加者数	5,191名	0名	98名	7,000名	↗	
		公園等緑化愛護会数	84団体	72団体	72団体	85団体	→	

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.21 基本目標4の環境施策

基本目標4

環境保全をともに学び、協働するまちをつくる

【環境施策の例】



狂犬病予防接種会場での犬のふんのマナー啓発活動



ごみのポイ捨て、犬のふんのマナー啓発用看板の無償配布

2. 計画の令和3年度実績の報告

2.22 基本目標4の評価

基本目標4

環境保全をともに学び、協働するまちをつくる

環境教室などの環境教育や、市民や事業者の皆様との協働活動については、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため中止・縮小が続いていますが、令和3年度はやや改善の傾向がみられました。

先人が残してくれた豊かな自然を守り、次の世代に引き継いでいくためには、市民の皆様が環境保全意識の醸成と、行政と市民・事業者の皆様との連携・協働は必要不可欠であり、今後は、環境教室やイベント等への参加者数の増を図るため、より効果的な実施手法や広報方法などを検討する必要があります。

3. 環境審議会による答申附帯意見への対応状況

3.1 計画改定案への答申附帯意見

【 附 帯 意 見 】

1 「低炭素・循環型社会」構築に向けた取り組みの強化

「会津若松市第7次総合計画」において、政策の柱の一つに掲げられている「低炭素・循環型社会」の構築に向け、市民や事業者、市民団体等との連携・協働のもと、再生可能エネルギーや電気自動車等の普及促進、省エネルギー化や3Rのさらなる推進など、その取り組みを強化されたい。

2 水素エネルギーの利活用の検討促進

国では、「第5次エネルギー基本計画」において、水素をカーボンフリーなエネルギーの新たな選択肢として位置づけており、県内外で水素ステーションの設置や燃料電池自動車の普及、コージェネレーション（熱電併給）システムの構築など、さまざまな取り組みが進められています。

こうした状況を踏まえ、本市においても、最新の知見の情報収集に努めながら、水素エネルギーの利活用についてさらなる検討を進められたい。

3. 環境審議会による答申附帯意見への対応状況

3.2 附帯意見1への対応

会津若松市

参加無料・事前申込制

低炭素化推進セミナー2021

～SDGs・地球温暖化対策と企業経営～

2015年の「パリ協定」の合意および国連における「持続可能な開発目標（SDGs）」の採択以降、環境に配慮した企業経営への関心が高まっています。

こうした状況を踏まえ、会津若松市では、「第2期環境基本計画」等に基づき、事業者や団体の皆様を対象に、環境問題への対応、地球温暖化対策等に関する最新の動向等を紹介するセミナーを開催します。

事業者・団体の皆様のご参加をお待ちしております！

■講演 ※オンラインにてご講演いただきます

「SDGsと企業経営」
「「2050年カーボンニュートラル」に
向けた国の政策動向と今後の見通し」

【講師】

ヨコハマSDGsデザインセンター
総合コーディネーター（中小企業診断士）
麻生 智嗣 氏



■その他

「会津若松市の脱炭素の取組について」

【説明者】会津若松市 市民部 環境生活課

3. 環境審議会による答申附帯意見への対応状況

3.3 附帯意見2への対応

令和1年9月

環境フェスタにおいて、燃料電池自動車を展示し、水素利活用に関する啓発活動を実施

令和2年8月

県主催「燃料電池現地説明会」に職員派遣

令和3年8月

大手調査会社や水素利用に関する企業団体との意見交換を実施

その他

県などに対して会津地方における水素ステーション整備等について要望を実施